

心が動く

4年生を担当すると、冬は決まっていづつかのものづくりをしたものです。その一つが、「空気のあたたまり方」の学習のまとめとして行う熱気球づくりです。二つ折りにした縦2m横1mの薄いビニルの両側をアイロンの熱で閉じたものにあたたかい空気を送ります。すると、思い思いに作った大きなビニル袋が体育館の天井に向かってふわふわと上がっていくのです。子供たちからは「すごいね。あんな高いところまで上がっているよ」「あたたかい空気ってエネルギーあるみたい」などと声が上がります。「あたためられた空気は上に動く」ことを学習した子供たちが、生活との関わりの中で空気の性質を捉え直し感動している瞬間です。

科学の祭典で味わえる感動は、これとは質を異にするものです。小中高大の先生方や企業等の方々が知恵を絞って開発された実験やものづくりブースが出展されています。初めて見る現象や既存の知識からは想像できない結果に対する驚きと不思議は意外で、子供たちは、なぜ、どうしてそうなるのと心が大きく動くことでしょう。そして、子供たちが知りたいと思う気持ちに呼応して、演示してくださる方から説明があり、そうなのかとまたまた心が動くことでしょう。各ブースでのスタッフの皆様との触れ合いも子供たちにとっては心に残る楽しみの一つになるに違いありません。

子供たちの心の中には、科学のおもしろさや不思議、自然の神秘や美しさ等を感じる素直さがあり、子供たちは、いつも純粹で新鮮な眼差しで科学や自然に向き合い、知的好奇心を高めていきます。子供たちのこの知的好奇心に応えるため、今回「青少年のための科学の祭典」が魚津市で開催されることは、誠に心強い限りです。ここでの体験は、子供たちの心に、科学や自然の芽を育てるさらなる契機となるものと信じています。

今年度は、同会場で魚津市小・中学校科学展覧会を開催しております。夏休みに取り組んだ研究調査作品や発明くふう作品、標本・模型作品が展示されています。大人では思いつかない豊かな発想に感心する一方で科学的知見の鋭さに驚かされます。また、中には数年にわたり調査研究した作品もあり、粘り強く取り組む姿勢に心が洗われます。ここでも心が動くことを感じていただけたらと思います。

最後にお世話くださいました実行委員会の皆様、ご協力・協賛くださいました皆様に、心より感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。ありがとうございました。

「'24 青少年のための科学の祭典」魚津大会・
第31回「おもしろ科学実験 in 富山」実行委員会
実行委員長 弥生 陽子(魚津市立清流小学校長)